

探究のサイクルをまわしながら..

2年校区探検

2号の学び通信に掲載し、5月の終わりから2週に渡って実施した2年生の校区探検。今年度初めての校外に出る学習でした。2回目の5日は、子どもたちから、

「あのお店は家の人と一緒に行ったことがある、おすすめの場所だ。」

「この浜公園はとっても綺麗な空が見える。おすすめの場所にしたいから写真を撮ってほしい。」

など、1回目にはない行動やつぶやきが聞かれました。

1回目のふり返りから、子どもの思いや願いを新たに引き出し、活動や体験後のまとめや表現の方法を確認することで、2回目はより目的を持った体験や活動になり充実した時間になっていました。まさに探求のサイクルでの行き来が行われたことにより学習に深まりが出てきたのだと思います。また1回目の見学で、指導者も最後に地図にして表現させるならこんな気付きの質を高めたいとイメージがより具体的になってくることで、声かけの仕方も変わってくるのかもしれないですね。

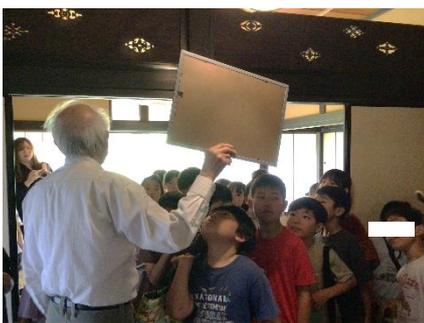
思いや願いをもつ

活動や体験をする



時には気付きの視点を持たせる意図的な仕掛けを作ることも必要ですね。

3年稲葉本家見学



3年生が6日に見学に行きました。昨年度も見学に行った場所だったと思いますが、総合的な学習の時間として地域の良さを調べる学習という視点で見学に行きました。探求のサイクルでは「情報収集」にあたります。見学では質問を中心に40分以上聞き取り、さまざまな部屋の見学もさせてもらいながら多くの情報を集めました。総合的な学習の時間となり、3年生にとっては探求のサイクルを始めて回しながらの学習になります。今後、6年生では自分たち自身がサイクルを回すことができるようになるためにも、初めは丁寧にサイクルを理解させ、やらせていくことが重要なのだと思います。ここから集めた情報をどのように整理・分析し、まとめや表現をしていくか、楽しみです。

府小研生活科部第1回支部長会に行ってきました

10日に学校の研究の概要や進捗状況について説明にいきました。たくさん質問が出たり11月の発表に向けて、支部によっては20名参加する予定のところもあったりと、関心の高さが伺えました。

